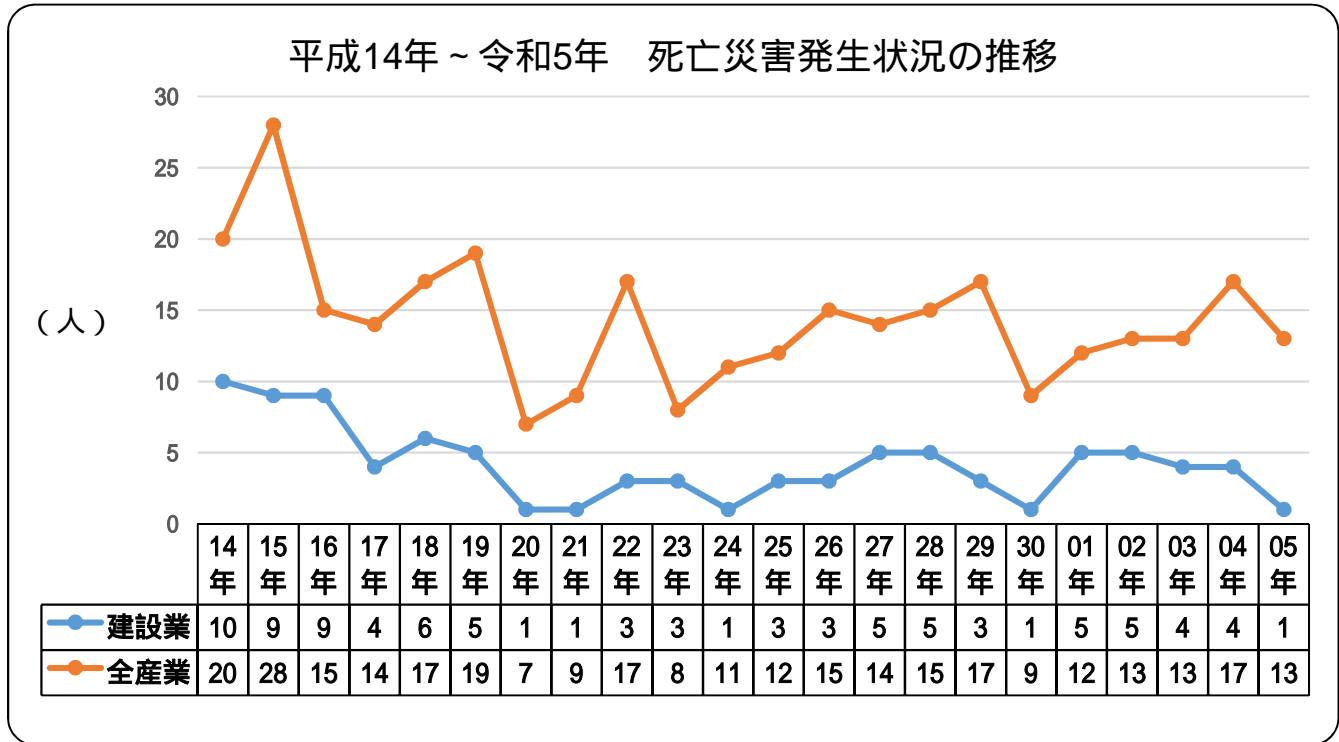


建設業における休業 4 日以上の労働災害の発生状況

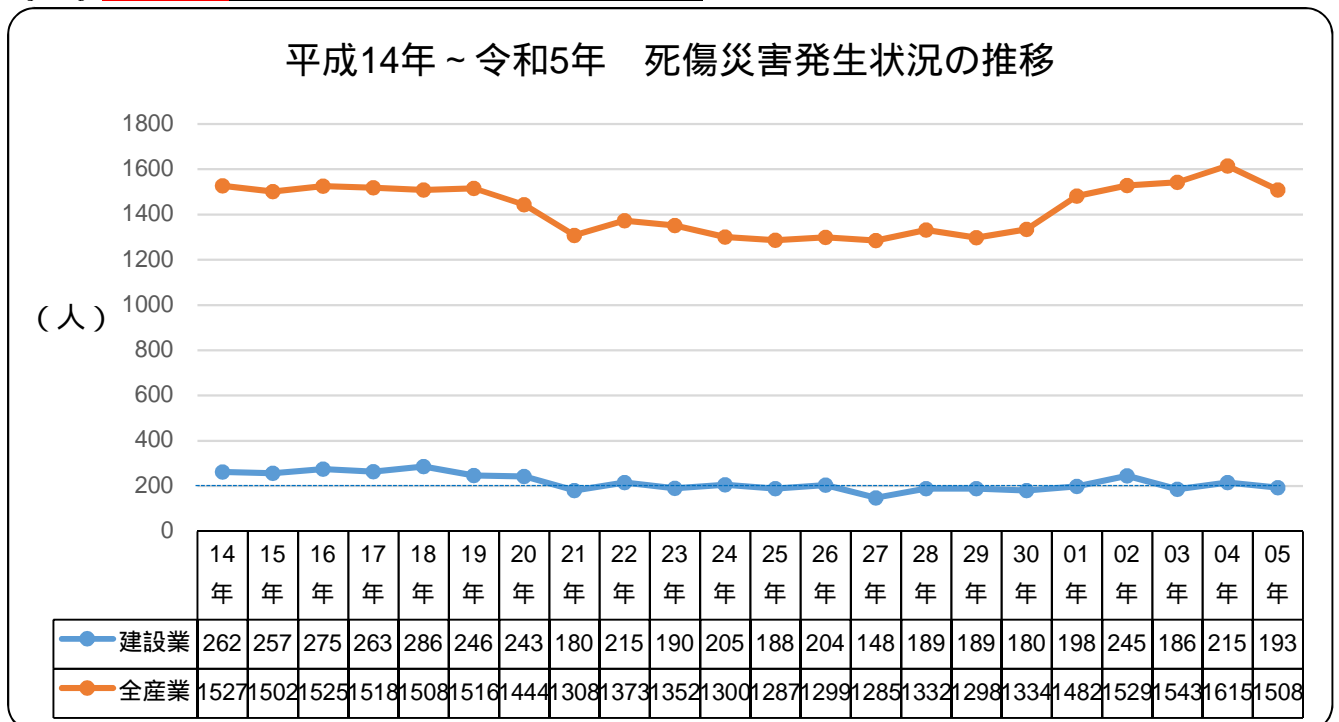
(新型コロナウイルス感染症り患を除く)

1. 全産業及び建設業における災害発生状況の推移

(1) 死亡災害発生状況の推移

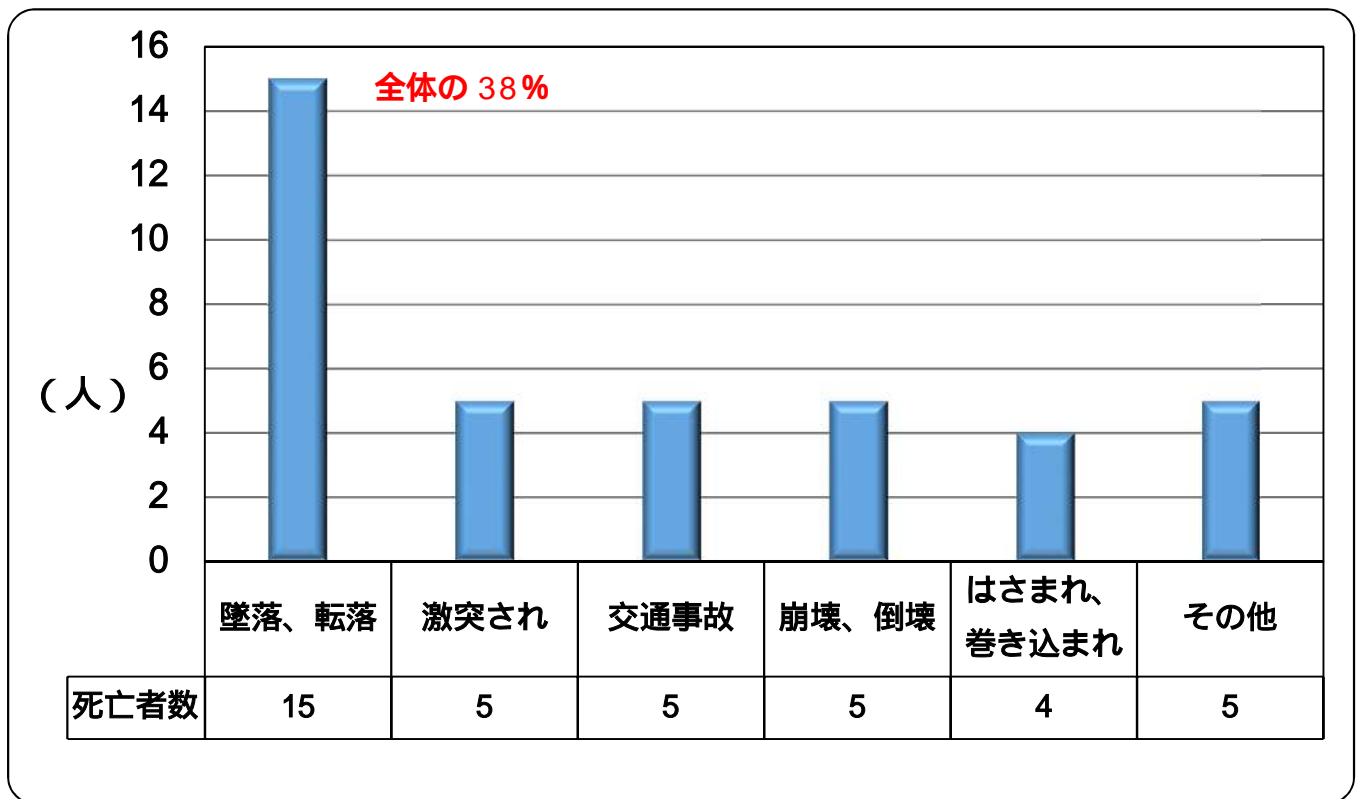


(2) 死傷災害(休業4日以上、死亡災害含む)発生状況の推移

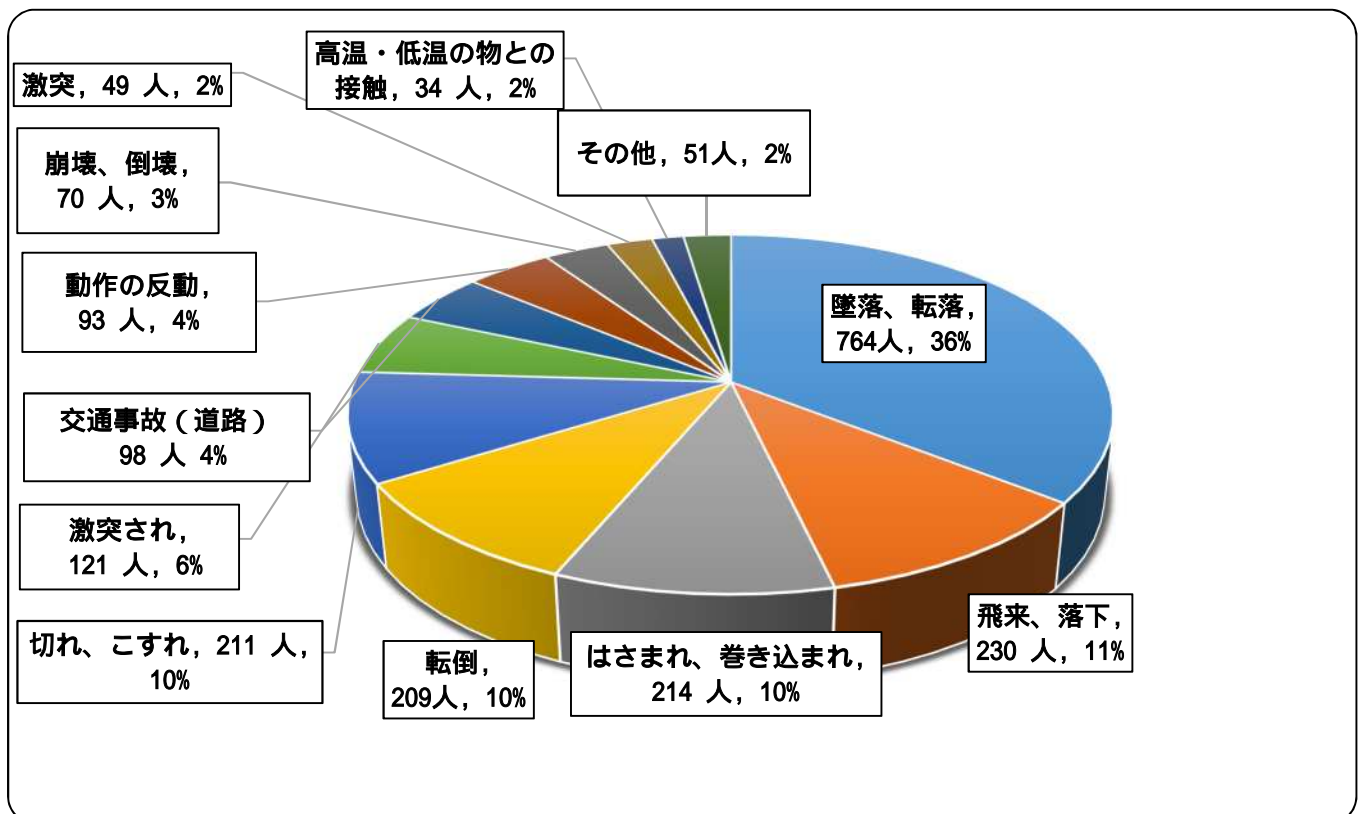


2. 建設業労働災害分析結果

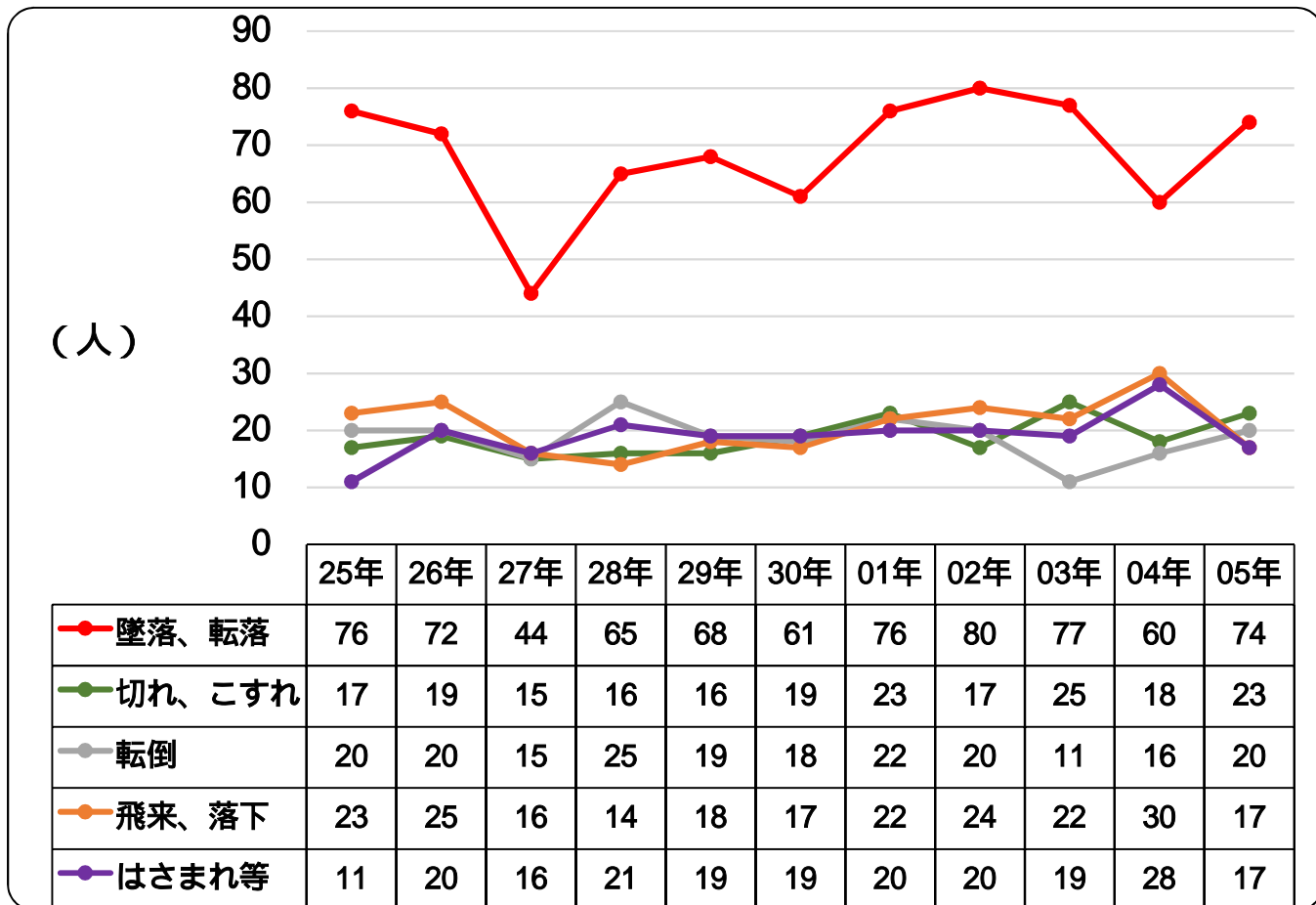
(1) 事故の型別 **死亡災害**発生状況 (対象期間：平成25年～令和5年)



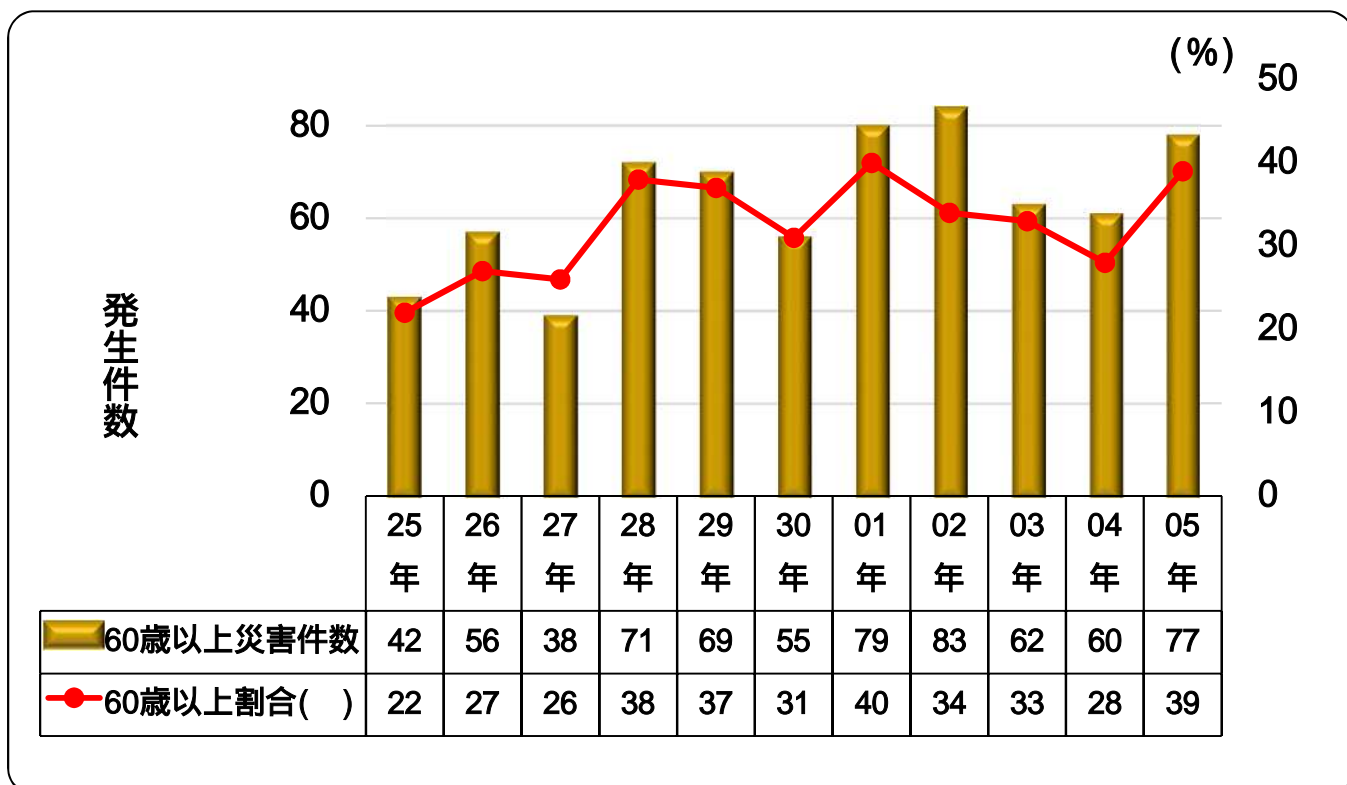
(2) 事故の型別 **死傷災害**発生状況 (対象期間：平成25年～令和5年)



(3) 事故の型(主要 5 型)別 **死傷災害**発生状況の推移



(4) 高齢労働者(60 歳以上) 災害発生状況



() 災害全体の中で被災者が 60 歳以上の災害が占める割合(%)

3 . 死亡災害発生状況一覧（令和4年以降）

災害発生年・月		災害の概要
04年	1月	河川工事において、川の流れを変更するためのポリエチレンパイプ（1本あたり200～300kgを2本連結したもの）をドラグ・ショベルにより吊り上げていたところ、ドラグ・ショベルの運転者の上着の裾が旋回レバーに引っかかり意図せず右旋回し、振れたつり荷が近くにいた被災者の頭部及び顔面に激突した。
	2月	河川工事において、敷設後のU字溝内の洗浄作業のため、被災者はホースを引っ張りながら河川沿いのコンクリート床面を移動していたところ、このコンクリート床が割れて1.45m下の河川内に墜落し、河川内の石に前頭部を打ち付けた。
	4月	マンションの修繕工事において、隣接する立体駐車場で作業を行っていた被災者が地上に墜落した。
	8月	戸建て住宅（木造2階建て）の新築工事現場において、建て方の作業を行っていた被災者が2階床部分の梁上から3.18m下の基礎コンクリート上に墜落した。
05年	6月	災害復旧工事現場において、被災者がドラグ・ショベルを運転して、法面下の床掘作業等を行っていたところ、法面が崩落し、被災者が土砂に埋もれ、死亡した。
06年	1月	被災者は、養殖用の水槽（深さ1.4m）の壁や床に生じたクラックの補修作業を行っていた。他の作業者が、水槽の壁の近くに倒れている被災者を発見した。被災者の側には移動式はしごが倒れていた。
	2月	道路補修工事現場において、被災者は、湧水等による法面の崩壊等を防止するため、法面下の床掘箇所に入り込んだところ、法面が崩壊し、土砂の下敷きとなった。